

福高ならではの取組 その1「教員養成プログラム」（教師になりたい人をサポートします）



「教育実習生との交流会」の様子

教育の魅力を知る

毎年10名程度の卒業生が教育実習生として本校に帰ってきます。教師を目指す先輩が高校、大学とどんな生活を送ってきたかを教えてくれます。比較的身近な年代の学生どうしだからこそ分かる悩みにも答えてくれ、生徒対教師の関係だけでは得られない深い学びができています。



「地元小学校で学ぶ会」の様子

教育の現場にふれる

「教師になりたい」と思っている、それは「子ども」が学校を見た視点で感じた思いではないでしょうか？「教師」として学校を見た時に、あなたの感じる思いはどのように変わるのでしょうか？教師を強く目指す人、そうでない人も、体験に参加することで必ずたくさんの発見があります。



「教員養成特別講座」の様子

受験に臨む

教師になるには、資格を取得するため大学に進学する必要があります。京都教育大学をはじめ、多くの大学、予備校の先生方を招き、大学に進むためにどんな力が必要か、面接対策をどうすべきか、様々なアドバイスをいただける機会が豊富にあります。この機会を経て、多数の生徒が大学合格しています。

【特徴】 ①実際の学校現場で体験できることが多い！ 主な協力依頼校…雀部小学校、惇明小学校、日新中学校など →協力してくださる学校の先生方からも、大変手厚い御指導をいただいています。 ②毎年多くの卒業生が教育実習生として帰ってくる！ →実際に教師になった卒業生も多く、先輩が後輩を育てる好循環ができています。	【参加した生徒の感想】 「附属中学校生徒との交流会」に参加 自分がわかることと、人に教えるということは全然違うなと改めて感じました。中学校の先生と少し交流できて、大学の学部について知ることができてよかったです。今回の交流会に参加して、志望校に合格して教員になりたいという気持ちがさらに強まりました。（高校2年女子）	【担当より】 第2学年部長 高見沢美樹 ただ漠然と先生になりたいと思っていた生徒が、このプログラムに参加することで、どういう先生になりたいかと将来の姿を思い描くようになります。6月には教育実習生の熱い思いを聞き、7月には小学校を訪問して学年ごとの授業の特徴や工夫を学び、8月には同じ志を持つ高校生が集まって授業作りを体験しました。高校生の今だからこそできる経験を通し、人としての成長を実感できる取組です。
---	--	--

学校の現場で働くには、高校卒業後、資格取得のため進学する必要があります。

*主な教育現場での仕事…小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭など

福高ならではの取組 その2「医学進学プログラム」（医療現場で働きたい人をサポートします）

医療の現場で働くには、多くは高校卒業後、資格取得のため進学する必要があります。

*主な医療現場での仕事…医師、歯科医師、薬剤師、看護師、助産師、作業療法士、理学療法士、診療放射線技師、臨床心理士など



「医療現場の現状や課題についての講演会」の様子

医療の仕事を知る

人の健康や生命に関わる仕事かどれほどあるのか知っていますか？医学進学プログラムでは、実際に病院に勤務されている医師の方を招き、様々なお話をいただきます。我々が日常で目にするものよりもはるかに多くの仕事があること、また知らなかった医療現場の事実など、たくさん知ることができます。



「ふれあい看護体験」の様子

医療の現場にふれる

福知山市民病院など、協力していただける病院を訪問して、実際に医療機器に触ったり、入院されている方や生まれたばかりの赤ちゃんに医療従事者の立場で触れ合う体験をしています。「患者」ではなく、「医療従事者」として人とかかわることで、参加した人は誰でも必ずたくさんの発見を得られます。



「河合塾進学ガイダンス」の様子

受験に臨む

医療現場で働くためには、資格取得のために進学する必要があります。河合塾、駿台から講師を招き、受験に関するアドバイスをいただきます。これを機に、勉強はもちろん部活動で得られる力も大切と気づき、一層努力する生徒が多いようです。昨年医学科に合格した生徒は3年間卓球部で活躍しました。

【特徴】 ①特定の仕事だけでなく、様々な医療現場での仕事に対応！ →ばくぜんと医療関係の仕事がしたいと思っているだけでも参加が可能！ ②夢をかなえるために必要な進学の指導・環境が充実！ →医療はチームと言われます。進学に必要な学力に加え、行事やHR活動、部活動を通じてチーム力を身につけます。	【参加した生徒の感想】 「医療現場の現状や課題についての講演会」に参加 自分がイメージしていたのとは違い、想像以上に他の職業との関わりや、人という枠以外の視点でも医療を提供したり、ずっと広い世界を感じることもできた。「地域のニーズを満たす」と聴いて、医療人に関わらず、今、何をすべきか、何が 필요한のかをくみ取る課題解決力が求められていると感じた。（高校1年男子）	【担当より】 進路指導部長 青木朋子 医療従事者として「生命を扱うという大変重い責任と覚悟が本当にあるか」と自分自身に問うことができるのがこのプログラムです。医療系に進学している卒業生や医療従事者による講演、地元の病院でのインターンシップを通して、「医療やその職業観について深く知ることができる」と、プログラム登録者からは毎年好評です。
---	---	--

福高 Topics

文理科学科1年 宿泊研修

文理科学科では、夏休みに1泊2日の宿泊研修を行いました。下の日程で、学校では学べない多くの経験をしてきました。文理科学科2クラスの生徒が互いの理解を一層深める良い機会にもなりました。大阪大学では、福高をこの春卒業して大阪大学に入学した先輩たち3名の話の聞いたりして、楽しいひとときを過ごしました。中身の濃い充実した2日間はとても貴重な体験となりました。

<主な訪問先>

8月7日(水)

大阪地方裁判所、日本銀行大阪支店

大阪企業家ミュージアム

8月8日(木)

大阪市立科学館、大阪大学、兵庫県立人と自然の博物館

大阪大学(豊中キャンパス)で卒業生と交流

<生徒の感想>

・大阪企業家ミュージアムでは、何事にも真剣に向き合い、あきらめない心と、深い探究心を持って挑戦することが新しいものを作るということを学びました。自分もこれから社会に出ていく上で大切にしたいです。

・大阪大学の先輩との交流では、聞いてみたかったことをたくさん質問して有意義な時間を過ごせました。高校生の頃に一生懸命努力をして、自信を持って大学へ進学された先輩方はとても楽しそうだという印象を受け、「自分も頑張ろう」というモチベーションに変えることができました。



近畿高校ユース陸上に出場

8月21日(水)～23日(金)に西京極陸上競技場で第52回京都府高等学校ユース陸上競技対校選手権大会が開催されました。文理科学科1年の生徒が男子400mで50秒84のタイムで見事優勝、普通科2年の生徒が男子やり投で53m73を投げ第3位と素晴らしい結果を収めました。この結果により、9月13日(金)～15日(日)に紀三井寺公園陸上競技場(和歌山県)で開催される、第52回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会に出場が決定しました。現在、近畿ユース大会を目指して練習に励んでいます。活躍が期待されます。



京都大会優勝！

京都大会3位！

学校説明会

福高の魅力を感じてみませんか？

10月5日(土)午後に福知山高校の学校説明会を行います。

説明会のオープニングとして吹奏楽部の演奏や書道部のパフォーマンスを楽しんでもらった後、普通科や文理科学科の特色や在校生からのメッセージを聞いてもらったり、福高の授業の様子を見学してもらいます。さらに、普通科や文理科学科の入試に向けて本校教員がわかりやすくアドバイスをします。希望者には個別の相談にも答えます。ぜひ多くの中学生・保護者の皆様に参加していただき、福高の魅力を感じていただけたらと思います。

また、11月7日(木)には、文理科学科の研究発表会を開催します。文理科学科の特色の1つである「みらい学」の様子をぜひご覧ください。

バドミントン 両丹予選で男子シングルスと男子ダブルスで優勝

近畿高等学校バドミントン選手権両丹予選会が、8月6日(火)・7日

(水)に行われました。男子シングルス

では、文理科学科2年の生徒、男子ダブルスでは文理科学科の生徒と普通

科2年の生徒のペアが優勝しました。

文理科学科の生徒は、シングルスとダブルスの見事2冠。2人とも本格的にバドミントンを始めたのは高校に入学してからです。さらに力をつけて、近畿大会に出場しようと練習に励んでいます。



京都府立福知山高等学校

【本校】 京都府福知山市宇土師650 Tel.0773-27-2151

ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/fukuchiyama-hs/>

【三和分校】 京都府福知山市三和町千束小学橋ヶ谷35-1 Tel.0773-58-2049



9月4日・5日に文化祭、6日に体育祭を実施しました。

文化祭では、1年生は教室展示、2年生は演劇もしくは創作演技、3年生は合唱を発表しました。また文化部も日々の活動の成果を展示や発表で披露しました。

体育祭では、学年ごとのクラス対抗競技や、団対抗競技が行われました。各団は総合優勝を目指して、競技、応援、アーチを競いました。



福高